

2024 年度暫定決算：ポッシュ、市場動向が障壁に コスト圧力の高まり - 「戦略 2030」の進捗

2025 年 1 月 31 日
PI 11928 RB Ka/af

- ▶ 2024 年の業績：売上高 905 億ユーロ、支払金利前税引前利益（EBIT）3.5%
- ▶ 「戦略 2030」：競争力を確保するための製品ポートフォリオ管理
- ▶ 中核事業を強化する AI：ソフトウェアおよびサービスで 2030 年までに数十億ユーロの売上達成見込み
- ▶ 成長：イノベーションの焦点となる気候変動
- ▶ 経済対策：市場自由化と投資拡大で力強い欧州を目指す
- ▶ シュテファン・ハルトウング：「未来に向けたモビリティや住宅関連テクノロジーは、引き続き重要な成長分野です」
- ▶ マルクス・フォーシュナー：「2025 事業年度の目標は、厳しい状況下でも売上高を伸ばし、業績を向上させることです」

シュトゥットガルト（ドイツ） - グローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するポッシュ・グループの 2024 事業年度の売上高は、暫定決算報告によると 905 億ユーロで¹、名目ベースで前年比 1% 減、為替調整後では前年比でほぼ横ばいでした。なお、支払金利前税引前利益（EBIT）は 3.5% でした。ロバート・ポッシュ GmbH 取締役会会長の [シュテファン・ハルトウング](#) は暫定決算報告に際し、次のように述べました。「最善の努力を尽くしたものの、ポッシュも経済情勢の影響から完全には免れることができませんでした。それでも業界内では比較的安定した業績をあげることができました。将来に向けたモビリティや住宅関連テクノロジーは、引き続き当社にとって重要な成長分野です。」ハルトウングは、買収や売却を含む戦略的な製品ポートフォリオの決定を通じて競争力と成長を強化した 2024 事業年度の取り組みを紹介しました。また、企業の構造調整もある程度行う必要があったと付け加えました。

¹ 四捨五入した数値。後日発表される年次報告書の数値とは異なる場合があります。

世界経済の低迷に加え、e モビリティなど成長市場の伸びが予想以上に低調だったことで、ポッシュ・グループの業績状況はマイナスの影響を受けました。この分野での売上不振と、生産能力が十分に活用されなかったことに加え、将来のテクノロジーへの先行投資や必要な戦略的調整のための引当金が高水準で推移したことも、業績に悪影響をおよぼしました。こうした試練にもかかわらず、ポッシュは意欲的な事業目標を徹底的に追求し、2030年までに主要市場における各事業分野のリーディングサプライヤーとなることを目指しています。また、平均年間成長率を6~8%とし、少なくとも7%以上の利益率達成を目標としています。

成長戦略：さらなるビジネスチャンスを拡大するための製品ポートフォリオ管理

昨年度、ポッシュは「戦略 2030」を計画的に実施し、いくつかの重要なマイルストーンを達成しました。そのひとつが、約 80 億米ドルの取引となる[ジョンソンコントロールズと日立](#)からの HVAC 事業の買収計画です。この事業を買収することで、ポッシュは米国やアジアなどの成長市場におけるプレゼンス向上を目指しています。「現在の逆風にもかかわらず、私たちは徹底的に成長戦略を追求し、将来的に不可欠なテクノロジーを着実に前進させ続けるつもりです」とハルトウングは語りました。ポッシュは、ビルディングテクノロジー部門のセキュリティおよび通信テクノロジー向け[製品事業](#)の大部分を売却したことで、今後はシステム統合事業に重点的に取り組み、成長を続けていきます。こうした移行により、ポッシュは事業セクター間のバランスを改善し、堅牢性を高め、将来的に有望な製品ポートフォリオにすることを目指しています。

未来のテクノロジー：「Invented for life」なソリューションを生み出すイノベーション

成長目標の達成に向け、ポッシュは将来的に重要な分野での技術革新を推進しています。ハルトウングは、気候変動の課題に対して「e モビリティ、水素、および持続可能なテクノロジーは引き続き成長事業であり、私たちの革新技術の焦点となっています」と述べました。例としてハルトウングは、現在ポッシュが米国で試験を実施している[クライオポンプ](#)を挙げました。これは、毎時最大 600kg の液体水素を圧縮するポンプで、これを使えばわずか 10 分でトラックが 1,000km 走行するのに必要な水素を充填できるようになります。家電製品に関してもポッシュは市場をリードしており、ポッシュは数週間後にエネルギー効率に優れた[ビルトイン XXL 冷凍冷蔵庫](#)を発表する予定です。これは、スマートホームの新標準規格「Matter」に対応した、メーカーに依存しない接続が可能な世界初の家電製品です。さらにポッシュでは、約 5,000 人の AI エキスパートが、AI を日常使用に活用するための開発を進めています。たとえば、新しい AI アシスト [緊急通報サービス](#)では、エレベーターを改修せずとも、利用者は同時通訳機能により母国語でサポートを求めることが可能になりました。

デジタルソリューション：AIで中核事業を強化

インテリジェントなソフトウェアおよびデジタルサービスは、今やポッシュの中核事業における重要な柱となっています。ハルトゥングは、「工場やオフィスでも、業務プロセスにおけるAI活用はますます増加しており、品質と生産性が改善しています。AIは、ポッシュの製品やソリューションにおいて欠かせない存在となっています」と述べました。ポッシュは2030年代初めまでに[ソフトウェアとサービス](#)領域で60億ユーロ以上の売上達成を見込んでおり、その3分の2をモビリティ事業セクターが占める見込みです。ハルトゥングはさらに「ポッシュでは、運転支援や自動運転技術において、すでに何年も前からAIが重要な役割を担っています。しかし私たちは、AI活用以外でもソフトウェア・ディファインド・モビリティの実現に向けて前進しており、世界中の大手ハイテク企業にとって理想的なパートナーとなっています」と述べました。一例として、ビークル・モーション・マネジメントと呼ばれるシステムソリューションが挙げられます。これには、機械的な接続なしで電子ブレーキペダルが作動する、ブレーキバイワイヤと呼ばれるブレーキ・システムを可能にするソリューションがあります。

経済政策：強い欧州のための競争力

ポッシュは、ドイツ国内および欧州全体の成長を促進する新しい政策の枠組みに注目しています。ハルトゥングによると、事業を展開する場所として競争力や魅力を高めるためには対策が必要で、「少ない規制、投資拡大、そして障壁を減らして市場の自由化を高めることで、力強い欧州が形成されます」と述べました。ポッシュの自国市場であるドイツにおける、エネルギー価格、官僚主義、そしてインフラの投資不足といった現状を踏まえた上で、ハルトゥングはドイツの次回選挙後に、議論から行動へと迅速に移行されることを期待しています。続けて「ビジネスを進めやすくすることは、正しい方向に向かうことを意味します。そうすれば、ドイツと欧州は今後も世界の経済的・技術的なフロントランナーになり得るのです」と述べました。ポッシュはそれに対し引き続き貢献する意向で、2025年、2026年ともに、グローバルでの投資額の約40%をドイツの拠点に継続して投じる予定です。

2024年の業績状況：事業セクター別売上高も市場動向の影響を受ける

ポッシュの事業セクター別売上高は、全般的な市場動向を明確に反映したものでした。「全体として、2024年は例外的な年となり、あらゆる主要市場の業績が同時に低迷しました」と、ロバート・ポッシュ GmbH 取締役会メンバー兼財務担当取締役である[マルクス・フォーシュナー](#)は述べました。**モビリティ**事業セクターの売上高は559億ユーロで、ほぼ前年並みの水準に達しました。市場の低迷にもかかわらず、売上高は為替調整後でほぼ横ばいとなりました。**産業機器テクノロジー**事業セクターの売上高は65億ユーロで、名目ベースでは前年比13%減、為替調整後は12%減となりました。機械工学部門では、とりわけ欧州、中国、米国といった主要市場が景気低迷の影響を受けました。**消費財**事業セクターの売上高は203億ユーロで、名目ベースでは前年比2%増、為替調整後

では実質 3%増となりました。ボッシュは、消費財事業において新型コロナウイルスのパンデミック後の需要の落ち込み以来、初めて成長に転じました。**エネルギー・ビルディングテクノロジー**事業セクターの売上高は 75 億ユーロで、名目ベースでも、為替調整後でも 3%減となりました。これは主に欧州における暖房機器市場の景況感が思わしくなかったことによるものです。

2024 年の業績状況：低迷する地域別売上動向

市場動向に加え、経済状況も売上高の地域別動向にさまざまな影響をもたらしました。「特に欧州事業は経済状況の影響を受けました」とフォーシュナーは説明しました。欧州の売上高は 445 億ユーロで、名目ベースおよび為替調整後では前年比約 5%減となりました。北中南米地域とアジア太平洋地域の売上高も、北米と中国の情勢により伸び悩みました。**北米**地域の売上高は前年比 5%増の 160 億ユーロで、南米地域の売上高は名目ベースで前年比 6%増、為替調整後は 12%増の 180 億ユーロとなりました。**アジア太平洋**地域の売上高は 281 億ユーロで、名目ベースでは 1%増、為替調整後は 3%増となりました。

2024 年の従業員数の推移：人員削減の必要性が明らかに

2024 年 12 月 31 日現在、ボッシュ・グループの従業員数は全世界で約 41 万 7,900 人、前年比で約 3%（約 11,500 人）減少しています。ヨーロッパとアジアでは、地域ごとに大きな変化が見られました。ドイツ国内の従業員数は約 3%（4,400 人）減となり、129,800 人となっています。

2025 年の展望：景気低迷によるコスト圧力の高まり

ボッシュ・グループでは、今年度も非常に厳しい環境になると見込んでいます。フォーシュナーは、「世界全体で成長はごく緩やかなものになると予想しています。世界経済が 2026 年以前に再び上向くとは見ていません」と語りました。ボッシュでは現状、2025 年の経済成長率はわずか 2.5%になると予想しています。成長戦略を実現するため、引き続きボッシュは財務目標に注力しています。「厳しい状況が続く中、2025 事業年度には売上と業績をさらに改善したいと考えています」とフォーシュナーは述べました。企業として力強く有意義な発展を継続できるのは、収益性のある成長だけ、とフォーシュナーは考えています。したがって、ボッシュは 2026 年までに 7%の目標利益率達成を目指しています。そのためには、魅力的な製品、適正コスト、未来志向の製品ポートフォリオに向けた適切な構造など、あらゆるレベルで競争力をさらに高めることが目標となります。「賢明な節約と集中的な投資をすることで、対策に必要な余地を確保することができます」とフォーシュナーは述べました。しかし、それは簡単なことではないとも警告しました。こうした計画には多大な努力が必要であり、苦渋の決断を迫られる可能性もあります。

報道用画像およびインフォチャートはボッシュ・メディア・サービス

www.bosch-press.com）でご覧いただけます。

報道関係対応窓口

コーポレート・事業・財務関連：

Sven Kahn, e-mail: Sven.Kahn@de.bosch.com

電話: +49 711 811-6415

エネルギー・ビルディングテクノロジー：

Matthias Jekosch, e-mail: Matthias.Jekosch@de.bosch.com

電話: +49 711 811-17645

持続可能なモビリティ：

Jörn Ebberg, e-mail: Joern.Ebberg@de.bosch.com

電話: +49 711 811-26223

人事・社会福祉：

Kristina Müller-Poschmann, e-mail: [Kristina.Mueller-](mailto:Kristina.Mueller-Poschmann@de.bosch.com)

Poschmann@de.bosch.com

電話: +49 711 811-13315

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2024年の従業員数は約41万7,900人（2024年12月31日現在）、暫定決算報告での売上高は905億ユーロ（約14.8兆円*）を計上しています。ボッシュは事業を通じて、自動化、電動化、デジタルイゼーション、ネットワーク化、持続可能性の取り組みといった普遍的なトレンド形成に、自社のテクノロジーを活用することを目指しています。こうした観点から、ボッシュは地域や業界の壁を超えた幅広い事業展開により、革新性と堅牢性を高めています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化とAIに関する専門知識を応用して、ユーザーフレンドリーで持続可能な製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上と天然資源の保護に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 470 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 136 の拠点で約 8 万 6,900 人の従業員が研究開発に、そのうち約 4 万 8,000 人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ（1861～1942年）がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の 94% は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しており、残りの株式はロバート・ボッシュ GmbH および創業家であるボッシュ家が所有する法人が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。

*2024年の為替平均レート、1ユーロ = 163.8354円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト（英語）

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス（英語）

@BoschPress ボッシュ・メディア公式X（ドイツ語）

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン公式ウェブサイト（日本語）

@BoschJapan ボッシュ・ジャパン公式X（日本語）

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン公式フェイスブック（日本語）

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン公式YouTube（日本語）